

6月19日(水)に、令和6年度茨城県特別支援学校PTA連絡協議会第1回理事・評議委員会並びに研修会がオンラインで開催されました。研修会では、日本理化学工業株式会社社長 大山 隆久 様をお迎えし、「働く幸せ実現のため社員から教わったこと」と題して、貴重なお話を伺うことができました。日本理化学工業株式会社は、黒板のチョークを製造販売している会社で、昭和34年に2名の知的障害の生徒を実習生として受け入れたことがきっかけとなり、それ以後、障害者雇用を継続し、現在は社員96名のうち68名が知的障害、25名の重度障害の社員を雇用しているとのことでした。2023年の24時間テレビ「虹色のチョーク」のモデルとなった会社で、ご覧になった方もいらっしゃると思います。

大山様によると、彼らの必死に働く姿に感銘を受けるとともに、彼らに分かるように教えることで、障害がある方も、ものづくりの職人になれることが分かり、雇用を続けてきたとのことでした。

参加された本校の保護者の方からも「今の子ども状況に合わせて考えさせられることが多かった。」「障がいがあるからあきらめるのではなく、役に立ちたいという気持ち大切だと感じた。」「目標をもって働く社員さんの姿に勇気をもらった。」などの感想をいただきました。ありがとうございました。

